

3年4組 社会科学習指導案

授業者 ○○ ○○

本時の流れ 主な発問	主な手だて	単元「 司 法 」全5時間(本時4/5) 目標 ○司法のしくみやはたらきに興味をもち、司法改革に主体者的な関心を持つ。 ○司法改革のあり方について、論理面と情意面で考察し、司法のはたらきをふまえてそのせひを判断することができる。 ○課題解決に向け、司法に関する様々な資料を収集・選択し、分析・考察の過程や結果をまとめることができる。 ○司法に関する基礎的・基本的な知識を身につける。
<p>①【めあてに導く】 前回、模擬裁判をしました。もし、裁判員に選ばれたら、何とかなりそうですか。裁判員制度で、被告人の立場として、裁かれる立場になったらどうですか。</p> <p>以前、この裁判員制度を司法改革の理念から評価してみました。模擬裁判を経験して、評価してみるとどうですか。</p> <p>②【自己の考えをもたせる】 もう一度、ポジショニングしてみよう。</p> <p>裁判員制度を再評価し、自分の評価とその見解をまとめよう。</p>	<p>○模擬裁判の判決の差に注目させ、めあてに導く。</p> <p>○ポジショニングをさせ、変化した部分があれば、そこに注目させる。変化がなければ、再度そう思った理由を書くよう指示する。</p>	<p>めざす生徒の姿(・生徒の実態と○本時の主眼) ・司法改革の理念を理解し、裁判員制度について一定の評価をもつことはできている。</p> <p>○裁判員制度に対する自己の見解と他者の見解を意見調整し、主体者意識をもった評価をすることができる。</p>
<p>③【コミュニケーション活動を促進する】 意見調整して、班で裁判員制度を再評価してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、自分のポジションにネームをはろう。 ・班長から右回りで、一人ずつ自分の見解を言おう。 ・発表を聞いて、心が動いた場合はネームを動かして下さい。 ・最終的に班として1つのポジションにまとまるよう、説得しあおう。 ・どうしても、1つにならないときは、そのままにしておいてください。 <p>④【まとめを引き出す】 どういう点でそのように考えますか。</p>	<p>【何を交流するのか】 裁判員制度に対する自己の評価と見解。</p> <p>【なぜ交流するのか】 自己の見解と他者の見解が違うから。</p> <p>【交流のゴール】 班で裁判員制度に対する評価をだす。</p> <p>○対立する生徒の意見を、意図的に指名し発表させる。</p>	<p>※参加型黒板</p> <p>めあて <u>ポジショニングを通して、裁判員制度を再評価しよう。</u> ③意見調整して、班で裁判員制度を再評価してみよう。</p> <p>④まとめ ・裁判員制度は【十分】 <u>国民の司法参加</u> 【安心】 <u>市民の感覚</u> 【不十分】 <u>判決や量刑の差が大きそう</u> 【不安】 <u>判決や量刑を自分で判断するこわさ</u></p> <p>↓ ・どうあれば、よりよい制度になりそうか。 ・制度は変えることができる。</p> <p>【強盗傷害事件】 ① 無罪 ○班○班○班 有罪 ○班 ○班 ○班 量刑○年 ○年 ○年 執行猶予○年</p> <p>②裁判員制度を再評価し 自分の見解をまとめよう。 (理由)</p> <p>【学習の見通し】 前回と今回の評価の比較。 何がそうさせたのか。</p> 

